

# 平成 30 年度 下水道への紙オムツ受入実現に向けた検討会 開催主旨

## 1. 開催概要

人口減少・超高齢化社会を迎えるなど社会情勢が大きく変化する中、我々のライフスタイルや働き方について見つめ直すことが求められている。それと同時に、我々の日々の生活や社会活動を支える下水道システム、下水道サービスのあり方についても時代の要請に応じた新たな取組が必要となる。

「下水道・LIFE・えんじん研究会」が平成 28 年 12 月にとりまとめた報告書では、介護の現場での利便性等、高齢化社会への貢献が強く期待されるとして、下水道に紙オムツを受入れて集約処理するシステムが提案された。

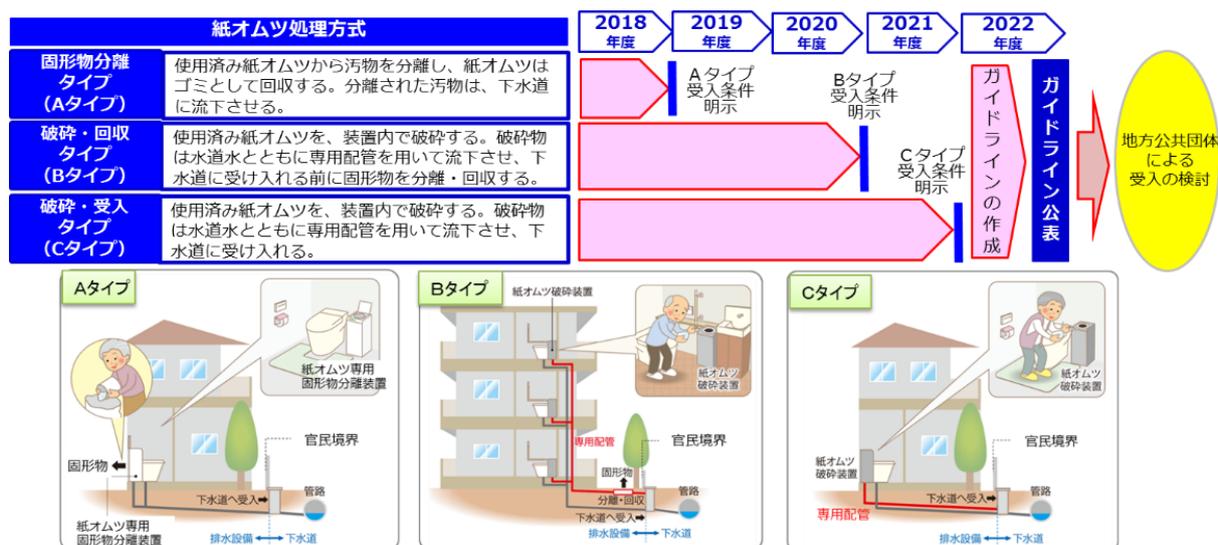
国土交通省としても、平成 29 年 8 月にとりまとめた「新下水道ビジョン加速戦略」の中で、高齢化社会等への対応として、ディスポーザーの活用及び下水道へのオムツ受入れ可能性を検討することを重点施策として掲げている。

こうした動きを踏まえ、国土交通省は、平成 29 年 1 月より「下水道への紙オムツ受入実現に向けた検討会」を立ち上げ、概ね 5 年間で実施する「下水道への紙オムツ受入に向けた検討ロードマップ」(平成 29 年 3 月)を策定した。

本検討会においては、ロードマップに基づき、下水道に紙オムツを受入に関する社会的ニーズを把握するとともに、技術的・制度的課題への対応策等について検討・審議する。

(参考)「下水道への紙オムツ受入に向けた検討ロードマップ」(平成 29 年 3 月)

下水道への紙オムツ受入に向け、3 タイプの紙オムツの処理方式ごとに、平成 30 年度より概ね 5 年間で実施する技術的・制度的検討事項をとりまとめたもの。各タイプについて受入条件を明示し、導入を検討する地方公共団体が具体的な検討をするためのガイドラインを策定する。



## 2. 検討会の公開について

- 検討会は原則として冒頭のみ公開とし、審議は非公開とする。ただし、座長が必要と認める者については、審議への出席又は傍聴を行うことができる。
- 検討会の資料は原則として公表とする。ただし、座長が必要と認める場合は、その一部または全部を非公表とすることができる。
- 検討会の議事概要は出席者の確認を取った上で公表する。
- 検討会資料及び議事概要については、検討会后、国土交通省のホームページに公表する。

## 3. 審議内容及びスケジュール

今年度の検討会における審議内容及びスケジュールは以下のとおりとする。検討会での審議内容及びスケジュール(案)は以下のとおりとする。

なお、本検討会の下に技術検討分科会（座長：森田委員長）を設置し、本検討会での審議に基づき技術的な検討を行うこととする。

○ 第1回（平成30年10月30日）

<主な審議内容>

- 平成30年度検討の進め方について
- A・B・Cタイプの社会ニーズの把握に向けた調査計画について
- ガイドラインの全体像と固形物分離タイプ（Aタイプ）の受入条件のイメージについて

○ 技術分科会

（第1回 平成30年10月30日）

- Aタイプ（固形物分離タイプ）の受入条件の考え方について

（第2回 平成30年12月8日）

- Aタイプ（固形物分離タイプ）の受入条件（案）について

○ 第2回（平成31年2月8日（予定））

<主な審議内容>

- A・B・Cタイプの社会ニーズの調査結果について
- Aタイプの受入条件について

以上